

2025年の証券市場動向をよむ

ブーケ・ド・フルーレット代表 馬^ま 淵^{ぶち} 治^{はる} 好^{よし}



- * 楽観出来ないアメリカ市場の先行き
- * ここからの日本株の見通し
- * やはり新興国投資はリスクが高い
- * 経済が低迷する中国をどうみるか
- * 至る所に陰りが見えるアメリカ経済
- * お金の量に比べて高騰続くアメリカ株
- * トランプラリーは一過性で円高へ
- * P/E Rでわかる日本株の水準
- * 経済の主役・消費動向について
- * 24年の日本株高をけん引したオイルマネー

山縣 それでは開会いたします。（拍手）

本日は馬淵治好先生をお迎えいたしました。アメリカのMITの Sloan School of Management をご卒業になりました。その後、日興証券に入られて、09年に独立されていらっしやいます。ブーケ・ド・フルーレット、小さな花束という、しゃれた名前の事務所を設立されて、その後、ずっと個人として論評を続けていらっしやいます。東洋経済にも本を書いていただいたのですが、『東洋経済オンライン』にもしばしばご登場いただいて寄稿していただいています。それから、これから出る『週刊東洋経済』にご見解が載る予定です。今までも何度も記者のインタビューを受けていただいております。

12月にもうすぐなりますので、今回のテーマは「2025年の証券市場動向をよむ」ということで、2025年を見据えて、どう考えたらいいのかわかるとお話を伺いたいと思います。皆さんからもたくさんご質問もあると思いますので、お話の後に伺えればと思います。（拍手）

楽観出来ないアメリカ市場の先行き

馬淵 こんにちは。今ご紹介いただきましたブーケ・ド・フルーレットという事務所をやっております馬淵と申します。

本日は本当に皆様お忙しいところ——中には暇な方もいらっしやるかもしれません、そんなことを言っちゃいけませんね。私がいけば暇